JMA マネジメントスクール

若手・中堅社員のための【社会人基礎力】強化セミナー

～“前に踏み出す力”強化編～

会　期

2023年　6月　8日(木)～　9日(金)
10月12日(木)～13日(金)

【時間】 各回とも 9:30～17:00

講　師 **船橋 正美**　一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター 専任講師

開催形態 オンライン
※Zoomによるセミナーとして開催いたします。

対　象

- チームリーダーとして、メンバーを巻き込み成果を挙げることが期待される方
- 任された仕事は充分こなせるが、自分発信で仕事を創り出すことを求められる方
- 次期リーダー候補として、仕事の仕方をどう変えていけばいいか知りたい方

研修の特色

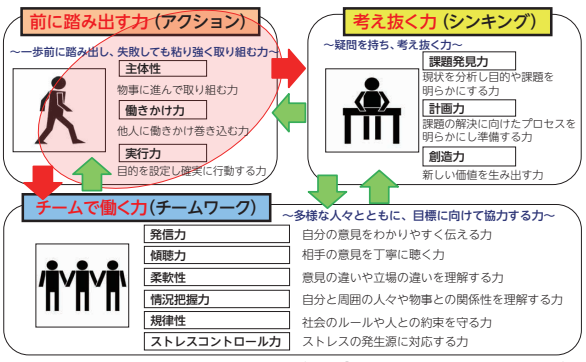
期待される若手・中堅社員、チームリーダーに求められるのは、問題・課題に対して当事者として真摯に向き合う「主体性」、メンバーや関係者と協働する「働きかけ力」、成果を出すためのPDCAを徹底する「実行力」。

本研修では以下の視点から若手・中堅社員の「前に踏む出す力(アクション)」を鍛錬します。

- ◆JMAが開発した「社会人基礎力チェックチャート」で、自分自身の社会人基礎力12の能力要素の強みと弱みを可視化する
- ◆「主体性」「働きかけ力」「実行力」職場で求められる使命と役割を可視化、再認識する
- ◆自分自身の将来像を描くとともに、今後3ヶ月～1年の「前に踏み出す力」のアクションプランを作成・相互交流、コミットする

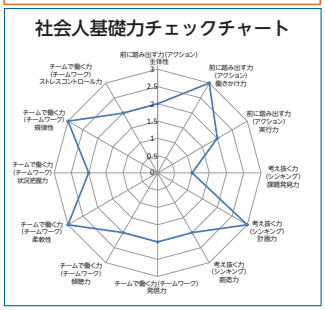
「社会人基礎力」とは

経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(＝3つの能力・12の能力要素)」として定義したもの。



(出典：「人生100年時代の社会人基礎力」経済産業省)

本セミナーでは、「前に踏む出す力」(アクション)の3要素、若手・中堅社員に求められる「主体性」「働きかけ力」「実行力」を重点に、業務遂行、問題解決場面での意識・スキル・ツールを講義・ワークショップを通じて修得いただきます。



プログラム　9:30～17:00 (昼休み 12:00～13:00)

1日目

1 若手・中堅社員として押さえるべき環境変化

(1) 社会～業界～当社～担当領域～担当業務
(2) 「人生100年時代」に必要な「社会人基礎力」とは
(3) 自己の「社会人基礎力」セルフチェック
～これまでの社会人生活の振り返りと強化すべき行動習慣・能力の発見

「社会人基礎力」セルフチェック　相互インタビュー

2 なぜ、「主体性」を高めることが求められるのか

(1) 「主体性」を発揮する要素
(2) 「主体性」を高める「問題意識」の重要性
(3) 問題認識のレベルの違いを振り返る
(4) 問題を分割する、深堀する、改善意識とスキルが「主体性」を高める

ワークショップ　ケース討議：主体性発揮場面
ワークショップ　相互インタビュー：主体性発揮のTPO

2日目

3 なぜ、「働きかけ力」が必要なのか

(1) 組織、チームの構造と機能を再認識する
(2) 「働きかけ力」を高める「意識・日常業務」の重要性
(3) コミュニケーションと論理性が「働きかけ力」を高める

ワークショップ　ケース討議：ステークホルダーへの働きかけ
ワークショップ　ロールプレイ：上司への依頼・説得

4 「実行力」を強化するPDCAの原則

(1) PDCAの前提として必要な2つのW(Why & What)
(2) PDCAを階層化し、マイルストーンでゴールを定義する
(3) 「主体性」と「働きかけ力」で「実行力」を高め成果を創出する

ワークショップ　ケース討議：目標・計画設定

5 近未来を見据えた明日からの行動計画を具現化する

『業務面・自己啓発面から考察する行動計画』

ワークショップ　個人ワーク：行動計画の策定
ワークショップ　相互インタビュー：コミットメント

■ 総括と質疑応答

※プログラム・スケジュールは変更することがありますのでご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

若手・中堅社員のための【社会人基礎力】強化セミナー

講師紹介（敬称略）

船橋 正美

一般社団法人日本能率協会
経営・人材革新センター 専任講師

1987年　社団法人日本能率協会入職
1992年　リエンジニアリング推進本部　マネジャー
業務改革・改善プロジェクトの調査、事業開発、教育業務を担当
2004年　公共体経営支援事業部 部長
学校法人経営支援センター センター長
行政改革、事務事業評価、自治体電子化調査等の事業開発、調査を担当
2010年以降は主として私立大学の経営改善、人事評価制度設計・運用等の調査・教育にあたる一方、2015年より、企業管理者教育プログラム講師を兼任。

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1 パソコン（各種検索サイト）からダイレクトで

セミナーID（半角数字）JMA151332 で検索

もしくは、**https://school.jma.or.jp/**

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合せください。
TEL：03(3434)6271

2 スマートフォン
タブレットから

参加料（消費税込）

一般社団法人日本能率協会法人会員	108,900円/1名
上　記　会　員　外	121,000円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。
※昼食の提供はございません。（各自でご用意ください。）
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※**参加申込規定**は**JMAマネジメントスクール**のWebページ（https://school.jma.or.jp/）に掲載しておりますのでご確認、ご同意のうえお申込みください。

キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料（年度内一回限り）
開催15日前～開催8日前（開催当日を含まず）	参加料の10%	無　料
開催7日前～前々日（開催当日を含まず）	参加料の30%	5,500円（税込）
開催前日および当日	参加料の全額	7,700円（税込）

参加日程の変更については、変更後の日程で確実に参加すること、かつ手数料をお支払いいただくことを条件に1回のみ可能といたします。
電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。なお変更後の日程のキャンセルの場合も上記キャンセル料を申し受けますのでご了承ください。変更は同一年度内（4月～翌年3月）に限ります。
（注）変更・キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

オンライン受講の方法

- オンライン会議ツール「Zoom」で配信します。
事前に接続テスト（https://zoom.us/test）にアクセスいただき、動作をご確認ください。
- 1申込につき1名様がご受講ください。（著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けしません）
- ビデオオンできる環境をご用意ください。イヤホンやヘッドセット、外部スピーカーを使用しての受講をおすすめします。
- お申込み時、参加される方のメールアドレスを必ず登録してください。
- テキストは事前に配付します。
- 本セミナーの講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。
- Zoomにおけるリモート制御ならびにレコーディング機能はホスト側にて停止させていただきます。

※お申込みの前に必ずオンラインLIVEセミナー規約をご確認ください。
お申込み完了を以て規約に同意したことといたします。

参加定員 30名　開催地域により、定員が異なる場合があります。
参加人数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただく場合がございます。

申込に関する問い合せ先（参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容）

JMAマネジメントスクール　TEL：03(3434)6271
電話受付時間　月～金曜日9:00～17:00　ただし祝日を除く
E-mail：seminar@jma.or.jp　FAX：03(3434)5505

プログラム内容に関する問い合せ先（企画担当）

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22　TEL：03(3434)1955(直通)



会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。
是非この機会にご入会をご検討ください。

詳細は
https://www.jma.or.jp/membership/

日本の経営革新
×
学びと成長



日本能率協会（JMA）は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。
社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティング、営業、開発・設計・技術、生産、購買・調達など専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援も行っています。

JMAが選ばれ続ける4つの理由

1 現場課題に合わせたプログラム内容
2 実践力のつく演習・ディスカッション
3 研修結果を継続させる仕組み
4 多様な業界、業種と交流